

袋が破れてしまうぞ

園長 小島 澄人

ほくほくの焼き芋、本当に美味しい。席を離れて戻ってみると焼き芋が置いてあります。1万3000株、あちこちで育ったサツマイモ、大小さまざまですが、子どもたちは収穫を楽しみました。土をおそろおそろ触りながらも、そのうちに必死に掘りつづけて満足げな子どもたち、大きな袋を引っ張ると地面につきます、すると持ち上げます。大事に大事に運ぶ姿が頼もしいです。「スイートポテト、ふかしいも、・・・」、子どもたちは楽しみにしているようです。幼稚園ではふかしいもにしたり、やきいもにしたり、・・・。

さあ、今度は大根です。あの小さな種が大きくなっています。子どもたちが2本持ち帰ります。自分より大きい大根です。自分で抜いた大根、必死に持ち帰るに違いない。またまた楽しみです。

今年は紅葉が遅れていますが、職員室前では「モミジバフウ」の大きな樹がありますが、本当に素敵な紅葉でした。毎朝、先生たちが掃きますが、ふわふわした紅葉を、一山にしておくと、幼稚園にやってきた子どもたちは大喜びです。頭の上に高くあげたり、胸にたくさん抱えている子もいます。その山に寝そべる子も、大事そうに素敵な数枚を持ち帰る子、そのうち紅葉も粉々になり、また先生たちが掃き掃除です。紅葉はあちこちにありますので、この時期は落ち葉はきは大変です。遊びを楽しむ子どもたち、それを見込んでの掃き掃除、楽しみながらもまた感謝です。

一方、子どもたちは発表会を楽しみにしています。大好きなお家の方々に見てもらう、そしていろんな人たちにも見てもらう、「見てもらい、褒めてもらい、認めてもらい、自信をもつ」を念頭に保育を進めています。予行練習では「他のお友だちに披露し見てもらう体験、そして他のクラスの演技を見る体験」でした。予行では、常任委員の方々にお着換えのお手伝いしていただきました。ありがとうございました。子どもたちはすごいです。楽しんでいましたし、こちらも本番が楽しみです。

父母の会のフリーマーケット、久しぶりのオープンでの開催でしたが、大勢のお客さん、たくさんの卒園児も来園し、一日中にぎわっていました。たくさんの保護者の方が懐かしがり写真に納まりましたし、卒園児もいっぱい挨拶に来ました。園庭で行われた「柿ライザー」のショーは、園庭が人で埋め尽くされました。私もちょっと出番がありましたが、その数にビックリ。夢の森では、20周年の「秋祭り」、素敵な企画で楽しかったです。

一人、「私、覚えている」、また「私、覚えている」・・・、私はわからなかったので「うーん」、確か6年生の女の子、はっきりしなかったので「うーん」。覚えていなかったことが悔やまれて、今でもその子の顔が浮かんできます。ごめんなさいね。

いよいよ、師走、素敵な年となりますように。